



第46号
〈発行〉
日置地区
社会教育振興会
〈事務局〉
鹿児島教育
事務所

日置地区PTA正副会長等研修会

性別に関わりなく一人一人に「ちがいが」ある

新型コロナウイルスや大雨の影響が心配されましたが、7月4日(土)、いちきアクアホールにおいて、本研修会が計画どおりに行われました。地区内の小中学校・県立学校のPTA正副会長等や教職員計71名の参加がありました。

講師の高崎恵さん(オフィスピュアワークシヨップデザイナー)は、「男女共同参画社会の形成の促進について」を演題に、ワークシヨップの手



講演の様子

法を取り入れながら、男女共同参画の意味や同調圧力、自己肯定感等、様々な切り口で、広く人権教育や家庭教育の重要性について話されました。

ワークシヨップ体験を通して実感させることで、講演内容が説得力を

もって伝わり、参加者はうなずきながら受講していました。

講演後、参加者からは、「勇気をもらった。」「子どもたちと向き合い、一緒に考えていきたい。」など前向きな感想が多く聞かれました。



講師の高崎恵さん

- ❖ すべては伝えられないが、周りの人に伝えようと思います。
- ❖ 認識のリセットができた。自分を振り返るいい機会になった。
- ❖ 子どもたちとの向き合い方が変われそうです。
- ❖ 教育現場にとどまらず会社内の人材育成にも通じる話でした。
- ❖ 「学校が終わっても学びは続いている。」心に残りました。

コロナに負けず 頑張っています!

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

県では11月1日～11月7日の期間を「地域が育む「かごしまの教育」県民週間」として設定しています。

これは県民一人一人が本県の教育について、考える気運を高め、教育の充実と発展を図るものです。



串木野駅にて

コロナ禍における県民週間の取組

地区内の学校では、三密にならないように時間・人数等を制限するなど感染防止対策を講じながら、可能な限り授業参観や特色ある学校行事を実施し、保護者等に子どもたちの学びの姿を見ていただきました。

みんな来て 手をつなごうよ 県民週間



右の絵画は、今年度の県民週間ポスター原画の部で優秀賞を受賞した十島村立諏訪之瀬島小3年の辻幸奈さんの作品です。

日和下駄

しおかぜ留学(山村留学)

三島村教育委員会
教育長 室之園 晃徳

鹿児島県は、「山村留学生」の受入れ人数が全国一位です。児童生徒数の減少が大きな課題となっているため、離島や地方の小さな町村では、少人数指導によるきめ細かな教育や特色ある教育活動を生かし、「山村留学」制度を充実させることによって学校や地域の活性化を図っているのです。三島村や十島村も積極的に取り組み、全国各地から子どもたちがやってきてたくましく学んでいます。

子どもたちは、「遊び」を通してさまざまなことを学び、「生きる力」を育んでいきます。多様な人間関係や自然体験は、五感を刺激し、好奇心を育み、感動する心や豊かな感受性を培ってくれます。都会に比べれば自然豊かな島ではありますが、刺激に満ちた都会よりも、何も無い島の方が子どもたちにとっては逆に刺激的かもしれません。大自然に囲まれた島で元気いっぱい過ごしています。



郷土の伝統文化を生かした子ども会活動の充実

日置市教育委員会

日置市は、先人たちが築いてきた歴史や文化遺産、優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有しています。

日置市子ども会育成連絡協議会（以下日置市子連）では、これらの資源を活用しながら、郷土に誇りと愛着を持ち、自他の生命を尊重し、思いやりのある心をもった「心豊かでたくましい子ども」を育成するため、東市来・伊集院・日吉・吹上各地域子ども会育成連絡協議会（以下地域子連）の連携と活動の充実を図っています。

各地域子連では、温泉施設を活用した4泊5日のふるさと学寮や姉妹・友好都市との交流事業など、市内の歴史や文化を体験する本市ならではの事業を企画・実施しています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、そのほとんどが中止・延期になってしまいました。

コロナ禍における日置市子連の活動

今回は新型コロナウイルスへの対策等を行い実施した2つの事業を紹介します。

妙円寺詣りの歌暗唱大会

この事業は、大正4年に作られた妙円寺詣りの歌の暗唱をとおして、郷土愛に満ち、人前でも堂々と自己表現できる青少年の育成を目的に、平成4年に始まり、29回目を迎えました。

8月21日（金）、伊集院地域内の小学校区の5会場（2小学校と3地区公民館）で、児童生徒224人が、烏頭坂コース（歌詞15番まで）、月色コース（全22番まで）、団体の部（2〜3人で22番まで）に分かれ、練習の成果を発表しました。



団体の部審査の様子

マスクの着用、参加者間の距離の確保など、これまでと違う暗唱大会でしたが、参加した児童生徒にとつて、歴史に触れ、自己表現する良い機会となりました。

妙円寺詣り大行進

鹿児島県の三大大行事である「妙円寺詣り」の一週間前に実施しているのが妙円寺詣り大行進です。

この事業は、今年で44回目となり、参加者の心身を鍛え、その気風を伝承することを目的に、10月17日（土）に開催しました。

今回は、三密回避のため、JRを利用した鹿児島市西郷公園から徳重

神社までのコースを変更し、日置市役所をスタート・ゴールとし、チェックポイントを折り返し、徳重神社を経由する18.3kmのコースにしました。

しかし、当日は雨天のため、急遽距離を短縮して、10.1kmのコースで実施しました。

参加者347人は、午前8時20分にスタートし、午前11時30分前には全員が事故や体調不良もなく、市役所にゴールして完了しました。

本事業を開催するに当たって、検温による健康状態のチェックや手指消毒、マスクの着用、参加者間の距離の確保等のコロナ対策と、スタッフを例年の約2倍の56人に増員して参加者の安全確保に努めました。

「親子で参加でき、思い出づくりになりました。」との感想が聞かれ、実施できて良かったと思いました。

日置市子連では、今後、子ども会大会、史跡めぐり歩こう会など、コロナ禍に対応した実施方法を模索して行く予定です。



完歩証を手に記念撮影



小雨の中 行進の様子

鹿児島再発見・修学旅行

三島村教育委員会

三島村の義務教育学校後期課程の子どもたちは、今年、オリンピックホストタウンのイベントや鹿児島国体の開会式に、ジャンベの演奏を披露することになっており、とても楽しみにしていました。

しかし、コロナ禍の影響で、これらのイベントが延期。計画していた全ての行事が中止となりました。

このような状況から、9月末、新たに修学旅行を実施することとなりました。古くから交流の深い枕崎市を訪ね、桜山中学校との交流学習や枕崎市文化資料センター「南浜館」で、お昼のコンサート（ジャンベ演奏）を実施しました。また、

指宿市や南九州市も訪問。知覧では平和集会を開き、感じたことを葉書に書いて自分の親に送りました。どこに行っても、30名の子どもたちを大歓迎でお迎えくださり、鹿児島の人のかさを感じ、感謝でいっぱいでした。



枕崎市南浜館でコンサート

いつも島から眺めていた見事な開聞岳や薩摩半島。今回の旅は、近くて遠かった未知の世界を新たに学び、また、鹿児島県のよさを再発見する旅となりました。

ジュニア・リーダー秋季研修

いちき串木野市教育委員会

本市では、ジュニア・リーダー「チェリーブロッサム」会員とイン・リーダー研修参加者を対象に、9月21日～22日に観音ヶ池市民の森交流センターでジュニア・リーダー秋季研修を1泊2日で行いました。感染症拡大防止の観点を考慮し、屋外での活動をメインに計画しました。

参加者は、小学生3名、中学生5名(内ジュニア・リーダー4名)、職員5名で、活動内容は、野外炊飯・テント設営・自然散策・天体観測・創作活動・レクリエーション活動です。

コロナ禍での体験活動

1日目の野外炊飯では、カレーを作りました。ご飯を釜で炊きました。水加減も良くおいしく炊き上がりました。

午後からの自然散策では栗の木を見つたり、観音ヶ池で飼われているヤギに餌をあげたりしながら周辺を散策。夜は天体観測で山間の夜空に輝く月や木星・土星・天の川を見たりして自然を満喫しました。



2日目の創作活動は、杉板フォトフレーム作りです。杉板をガスバーナーで全面焼き、タワシや新聞紙で磨き、拾ってきた木の枝やドングリなどで装飾して個性豊かな作品を作

りました。

レクリエーション活動では、動物名前当てゲームやバルーンアートを行いました。

今回は、野外テント宿泊でした。感染症を考慮し6人用テントに2～3名で宿泊しました。その日は、冷え込みが強く、急遽、毛布を借りました。朝の冷たい空気がとても気持ちよく感じました。

参加者の感想として、「ガスバーナーを使うのが初めてだった」「友達ができ、楽しく協力して活動できた」というような声が聞かれました。

エ夫しながら自分で行動するジュニア・リーダーが率先して行動し、人数確認や資料の配布、参加者への気配りなど事務局の指示に対して自分で考え、行動していました。

現在、青少年活動をはじめ、いろいろな活動や行事が中止になっています。新しい生活様式でエ夫しながら様々な体験を通して、それぞれが成長するきっかけを作ることが出来たのではないかと思います。



テント設営



杉板フォトフレーム作り

いちき串木野市郷土史料集3

「古文書編」発行について

本市は「人が輝き文化の薫る世界に拓かれたまち」を将来都市像に掲げ、その施策の一環として、市内に残る貴重な資料等を収集し、後世に残すとともに、郷土学習の資料として活用してもらおうと郷土史料収集事業に取り組んでおります。

(1)平成27年市制施行10周年

「いちき串木野市郷土史料集1」

(民話・祭り編)

(2)平成30年

「いちき串木野市郷土史料集2」

(金山編)

今回の古文書編が第3集目になります。調査については、市内外の専門家4名に依頼し、聞き取り調査をはじめ、市民の方々から貴重な資料を提供していただきました。

集まった資料はすべて掲載することとはできませんでしたが、編集委員会の先生方の専門的指導の下、歴史を物語る貴重な古文書編となっております。



郷土史料集3

この史料集が、地域で広く活用され、ふるさとへの愛着と文化財の理解、更に今後のより良いまちづくりに寄与すればありがたいです。

「ヨイ、ヨイ。ヨイ。」

悪石島子ども会(十島村)

「ボゼがくつどー」。呼び太鼓の激しい音が鳴り響く中、ボゼが3体出現し、ボゼ祭りが始まりました。

ボゼ祭りは、9月3日(旧暦7月16日)に行われます。平成30年11月29日に悪石島のボゼはユネスコ無形文化遺産に登録されました。ボゼ祭りの余興等で、以前はハツパン大將が踊られていました。長い間途絶えていましたが、4年前から復活させて、子どもたちが披露しています。



復活したハツパン大將

本年度は歌い手から踊り手まですべてを子どもたちだけで行うことができました。この日のために子どもたちは夏休みから集まり、初めて踊る子どもたちが半数近くいる中で、昨年度までの経験者を中心に練習を積んできました。

いよいよ始まります。「ヨイ、ヨイ。ヨイ」の掛け声が合図です。今年も勇ましい姿で踊り、踊り終わった瞬間、沸き上がったアンコールの声に再び踊り出した子どもたち！

踊り終えた子どもたちに頼もしさを感じました。

来年はさらにたくましくなった姿を見せてくれるに違いありません。

書面開催

ふるさとを興す保健・福祉学習大会及び
コロナ禍
対応に苦心

組織・教育・食料・環境学習大会
日置地区地域女性団体連絡協議会

8月25日(火)、いちきアクアホールで開催される予定の本大会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面開催となりました。



書面開催の資料

共生・協働で地域の絆をつくろう

「誰もが明るくいきいきと暮らせる環境づくりのために」のテーマで各地区の活動などの他に、二市の二人の活動発表が掲載されています。

活動発表Ⅰ

「布マスク、1000枚作製」の取組

日置市地域女性連絡協議会

会長 横山公代さん

日置市地域女性連では、「女性の知恵と実践で」をテーマに地域に根差した社会貢献活動を日々実践しています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、小さな子どもたち向けに工夫を凝らした布マスクを各地域女性連と協力して製作しました。出来上がったマスクに子どもやお母

さん方からたくさんのお礼をもらい、これからの活動への意欲につながったと述べています。終わりに、「今後、いろいろな事象が起こっても女性連の今までの経験や細やかな心遣いで地域に役立つ組織として活動し続けていきたい」と、締め括っていました。



活動発表Ⅱ

持続可能な組織の在り方について

いちき串木野市地域女性団体連絡協議会 会長 塩屋かよ子さん

市地域女団連では、「明るく住みよい地域社会づくりを目指して」をテーマに、少子高齢化に伴う諸問題を女性の視点で「何ができるか」を判断し、様々な活動を実践しています。

今年は持続可能な組織づくりのために次の3つの改善を行っています。

- ◆4役の負担を軽減し、専門部形式で賛同する人材の発掘へ
- ◆行事を精選し、地区(まち協)や公民館の活動を動員から支援へ
- ◆会則の改定を行い、会員のための組織づくりへ

今後の取組として「持続可能な組織を目指し、全16地区まちづくり協議会とも連携を図りながら、さらにわかりやすい市女性連活動に努めていきたい」と述べていました。

受賞おめでとうございます

【子ども会関係 国・県表彰】※敬称略

★全国子ども会連合会表彰

○林田 榮次(日置市) 故人

★九州地区子ども会育成連絡協議会表彰

○松下 良照(いちき串木野市)

★県子ども会育成連絡協議会表彰

○下与倉子ども会育成会(日置市)

○生福地区子ども会育成会

(いちき串木野市)

★県優良青少年少女団体表彰

○下神殿子ども会(日置市)

○入来子ども会(日置市)

○北区子ども会(日置市)

【地区子ども会育成連絡協議会表彰】

○妙円寺7区子ども会(日置市)

○立野子ども会育成会(日置市)

○和田地区子ども会(日置市)

○大原地区子ども会(いちき串木野市)

○川南地区子ども会(いちき串木野市)

○中之島子ども会(十島村)

お知らせ

鹿児島県PTA活動研究委嘱公開

令和3年1月30日(土) 12時45分

日置市東市来文化交流センター

※マスク着用等、感染拡大防止対策に御協力ください。

編集後記

今年も残りわずか。三密、ソーシャルディスタンス、新しい生活様式等の言葉が飛び交い、コロナ禍対応に追われた一年になりました。行事中止を余儀なくされた中、社会教育情報の提供、ありがとうございます。(事務局 田中)

新型コロナウイルス感染症に
心で負けない行動を！

- 偏見や差別を許さない。
- デマや誤った情報に惑わされない。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、誤解や偏見により、感染者や医療機関、介護施設等及びそのご家族に対する誹謗・中傷、ネット上での悪質な書き込みといった人権侵害が増加しています。

いまこそ、思いやりの心を

偏見や差別を行うことなく、デマなどに惑わされることなく、冷静に行動しましょう。

- ◆コロナ禍の影響で中止になった行事
- ◆鹿児島県地域文化財保護審議会委員及び文化行政担当者等研修会
- ◆中央ブロックユニア・リーダークラブ及び高校生クラブ等交流大会(屋久島)
- ◆日置地区公民館経営研究会
- ◆鹿児島地区子ども会大会 指導者・育成者研修会
- ◆書面開催
- ◆日置地区社会教育振興会総会
- ◆日置地区ふるさとを興す保健・福祉学習大会、組織・教育・食料・環境学習大会